

新たなビジネス・文化が生まれ続ける国際交流拠点

Global Gateway / TAKANAWA GATEWAY CITY

JR東日本建築設計は、品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体の代表として、JR東日本が進める TAKANAWA GATEWAY CITY のまちづくりに貢献しています。



都市の継続的なアップデートを都市計画・建築等の側面から支援



TAKANAWA GATEWAY CITY における3D都市モデルを活用した共創型まちづくり



TAKANAWA GATEWAY CITYでは、街のデータ基盤を整備し多様なデータを掛け合わせることで新たなサービスを生み出し「100年先の心豊かな暮らしのための実験場」となる街を目指している。
2022年4月から2023年3月までの期間で、3D都市モデルを活用した高輪ゲートウェイ駅周辺地域における「防災エリアマネジメントDX」、「まちづくり教育ツール」の2つの実証実験を行った。



Project PLATEAU

国土交通省主導のもと2020年にスタートした「Project PLATEAU」は、3D都市モデルをオープンデータとして公開し、まちづくりに関する分野での活用を促すプロジェクトです。多くの地方公共団体や民間企業、多様な研究者、エンジニア、クリエイターらが参加するプラットフォームとして成長を続けています。

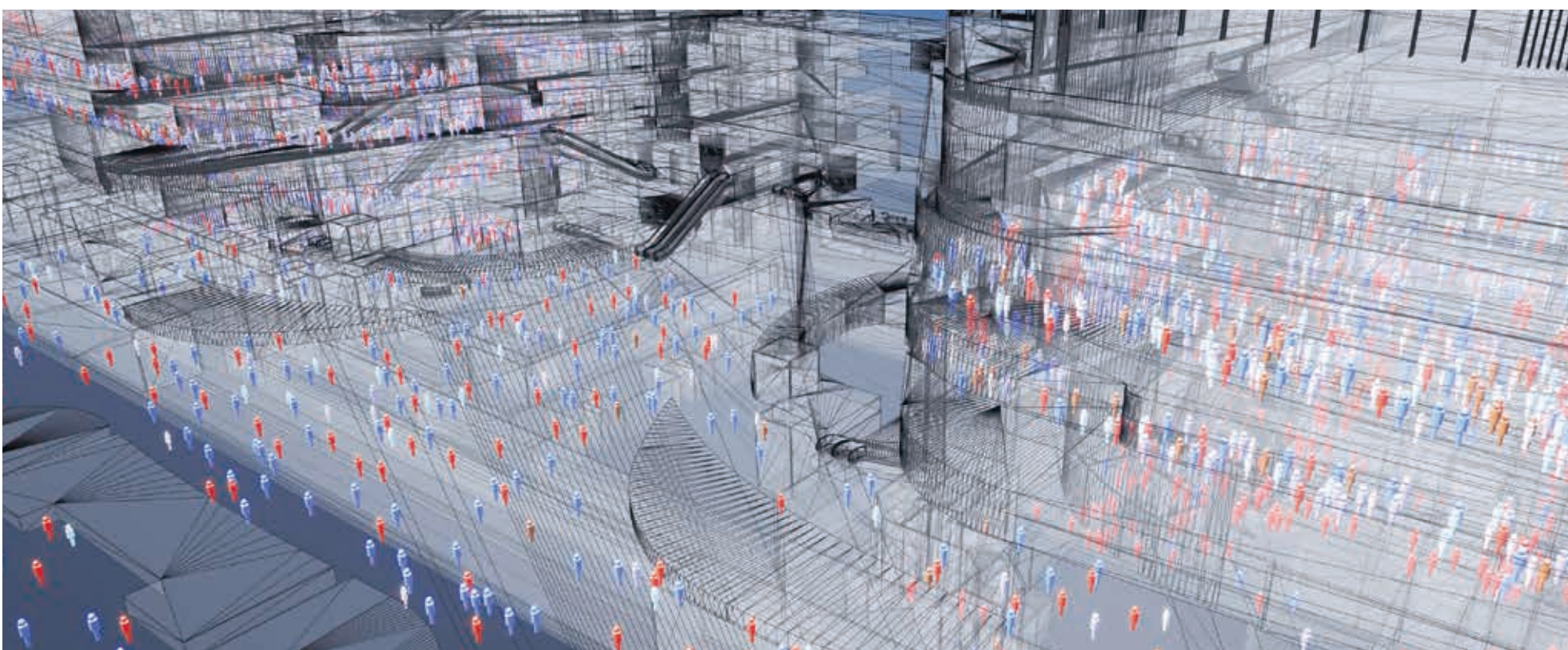
G7香川・高松都市大臣会合への出展

当社はJR東日本グループとして出展し、G7会合にご参加の皆様に向けて、Project PLATEAU（プロジェクトプラトー）の3D都市モデルの作成・活用等について、展示・プレゼンテーションを行いました。

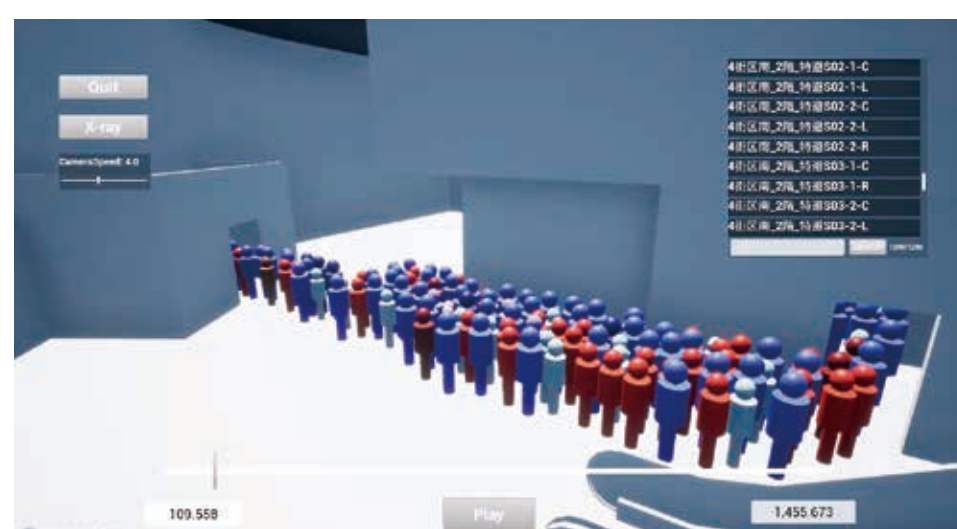


防災エリアマネジメントDX

3D都市モデルを活用した人流シミュレーション環境を構築。防災を切り口にエリアマネジメントのDXを目指す。



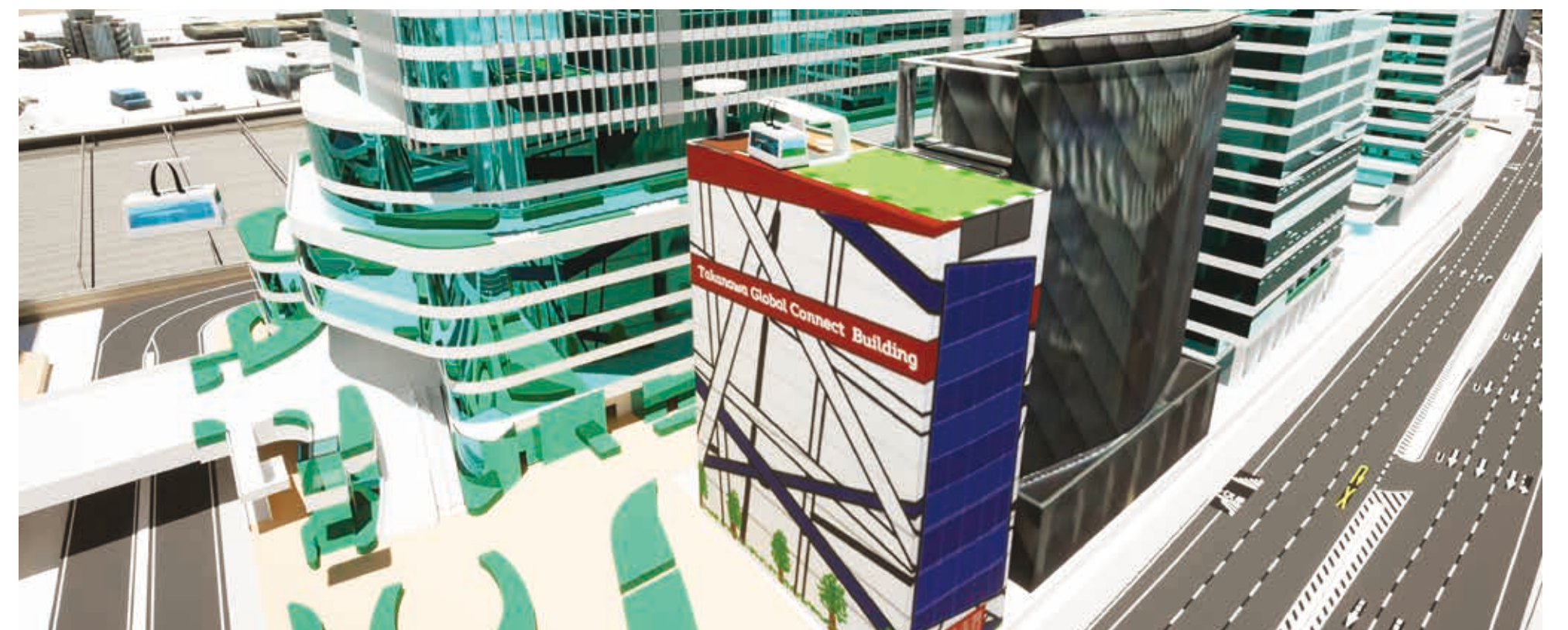
地域の価値を維持・向上させるため、民間事業者が主体となってまちづくりを行うエリアマネジメントの取組が各地で進められている。しかし、こうした活動は事業者側の負担が大きく直接的な収益も生みにくいことから、活動の効率化・成果の見える化が課題となっている。特に、「安全安心なまちづくり」に向けた取組は、付加価値創出ではなくコストとして捉えられる傾向が強い。
3D都市モデルを利用した大規模誘導・避難シミュレーション環境を構築し、エリア内防災計画の更新や合意形成における有効性を検証することで、防災を切り口にしたエリアマネジメントのDXを目指す。



実施事業者：東日本旅客鉄道株式会社 / KDDI株式会社 / 東急不動産株式会社 / 株式会社日建設計
アドバイザー：東京大学大学院 出口敦教授 / 東京大学 加藤孝明教授
実施協力：一般社団法人高輪ゲートウェイエリアマネジメント / 高輪ゲートウェイ駅周辺地区広域連携連絡会(安全安心WG) / 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(エリア防災推進委員会、スマートシティ推進委員会) / 株式会社JR東日本建築設計

まちづくり教育ツール

子どもたちのアイデアを形にするまちづくり教育ツールを開発。市民参加型まちづくりの促進を目指す。



都市における生活や働き方が多様化する昨今、様々な市民が主体的にまちづくりに関与していく市民参加型まちづくりの重要性がますます高まっている。
参加意識の向上の観点からは、特に次世代のまちづくりを担う子どもたちに対するまちづくり教育の充実が重要である。地域の子どもたちを対象として、3D都市モデルを活用したまちづくり学習ツールを開発し、市民参加型まちづくり促進を目指す。



実施事業者：東日本旅客鉄道株式会社 / インフォ・ラウンジ株式会社 / 株式会社日建設計 / 特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール
アドバイザー：東京大学大学院 出口敦教授
実施協力：一般社団法人高輪ゲートウェイエリアマネジメント / 株式会社JR東日本建築設計 / 港区教育委員会